

第3部 ごみゼロ 市民会議 特集

環境先進都市を目指して

ごみゼロ市民会議委員を募集します

市民の皆さんのアイデアをお寄せ下さい

ごみ減量課 ☎042・797・0530 FAX042・797・5374
町田市コールセンター ☎042・724・5656 FAX042・724・5600

町田市では、ごみの減量と資源化の推進に向けて、ごみになるものを作らない・燃やさない・埋め立てないことを基本に、「ごみゼロ市民会議」を設け、これに参加していただける市民の皆さんを募集します。

この会議は、ごみの減量と資源化の推進を持続的に維持していくために、より多くの市民の皆さん方の話し合いを通して、町田市における減量・資源化の具体的な方策を提案していただき、まとめられた方策を市に報告していただくものです。その後、地域での方策の実証につなげていただければと考えています。より多くの皆さんのご応募をお願いいたします。

町田市長 石坂丈一

ごみについて考えよう!

私たちのまわりにはモノがあふれ、使い捨てを繰り返しています。しかし、それがさまざまな環境問題を引き起こしています。

ごみが増え続けることは「埋め立て地が満杯になって困る」というだけでなく、地球の温暖化や、人々や生き物に悪い影響を及ぼしています。

ごみになるものは家に持ち込まない、家からごみを出さない、繰り返し使えるものは何度も使う、繰り返し使えないものは、資源として活用するなど、ごみ減らしの工夫が必要です。

ごみについて考えることは、地球環境を守る第1歩です。

ごみゼロ市民会議は9月に開催予定です

今回募集するごみゼロ市民会議の1回目の会議は9月に町田リサイクル文化センターで開催する予定です。その後の会議の開催については、委員相互の話し合いで決めていきますが、月1回程度で、参加しやすい土曜・日曜日などの開催を想定しています。

市民会議は、一般公募委員約50人のほか、地域選出からの委員10人などにより、概ね60人で構成。会議のアドバイザーとして学識経験者や、会議の進行管理役としてコンサルタント会社の参加を予定しています。

ごみの減量・資源化の具体的方策を検討

ごみゼロ市民会議では、2007年8月末を目途に、地域で実践できるごみ減量・資源化の方策を検討していただきます。

主な検討事項は、発生抑制 分別の徹底 プラスチックの分別収集・資源化 生ごみの資源化の4項目を考えています。

ごみゼロ市民会議では、市民の方のごみの減量や資源化の方策の提案とともに、委員の方全員での話し合い、専門家による講演会やパネルディスカッションを通して、地域で実践していただけるようなごみの減量・資源化の具体的方策の検討をしていただきます。



ごみゼロ市民会議
専用はがきでご応募下さい
あなたの「提案」を書いて7/31までに

専用はがき

ごみゼロ市民会議委員の公募について

ごみ減量・資源化の具体的方策を検討していただきます
応募専用はがきでご応募下さい

募 集 内 容

対 象 市内在住で18歳以上(2006年4月1日現在)の方で、ごみゼロに向けたごみの減量・資源化に関心があり、検討された方策を自ら地域で積極的に実践していただける方

募集人員 50人程度(応募多数の場合は抽選となる場合があります)

活動内容 ごみゼロに向けたごみの減量・資源化の方策を委員相互で話し合いながら検討し策定します。会議は月1回程度、土・日曜日などの開催を予定しています。

委嘱期間 2006年9月から2007年8月までの予定

謝 礼 1回につき2000円程度

応 募 方 法

左の「応募専用はがき」(切手不要)を切り取り、必要事項と「発生抑制 分別の徹底 プラスチックの分別収集・資源化 生ごみの資源化」の中からテーマを選択し(複数可)、ごみの減量・資源化につながる具体的な実践方法のご提案を200字~400字以内で記入し、7月31日(消印有効)までにごみ減量課へ。

なお、結果は8月末までに、応募者全員にお知らせします。

選 考 基 準

個人・団体に対する誹謗・中傷が記述されたもの及びごみ減量・資源化に関する記述のないものはご遠慮願います。

特 記 事 項

- ・この会議は、公開で行われます。
- ・お送りいただいた応募はがきは、個人を特定できる部分を除き、公開される場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

郵便はがき

194-8701

料金受取人払



差出有効期間
平成18年7月
31日まで
(切手不要)

町田市中町一丁目20番23号

町田市役所清掃事業部
ごみ減量課 行



氏名		
住所	(〒 -)	
電話	(受付印)	
性別	男 ・ 女	
年齢	歳	

キリトリ×

キリトリ×

ごみ減量・資源化の検討課題

ごみダイエット忍者ワケ丸一家が課題解決のお供をいたします



ワケ丸
我がヒーロー、ごみダイエット忍者。ひたすら町田を愛し、ごみダイエットに命をかける。「ごみ分けの術」「ことわりの術」を得意とする。



おりサ
ワケ丸のワケあり女房。「使い回しの術」に長けており、繰り返し同じものを使うだけでなく、不用になったものもリサイクルせずにはいられない。



コワケ丸
ワケ丸の子分だが、本当は-!/?今はワケ丸夫婦の家と一緒に暮らしている。「ごみ分けの術」「へらしの術」「袋返しの術」と細かい分別が得意なのでコワケ丸と言うわけだ。

発生抑制

出てきたごみを資源として出し、リサイクルすることも重要ですが、ごみになるようなものは家に持ち込まない、だからごみは出ないというのが発生抑制です。使い捨て製品は使わずに、使い切る、使い回すことがごみの発生を抑制しているのです。



無意味に過剰な包装は断るべし

品物が壊れないよう幾重にも包んであるのは一見、丁寧だけれど、商品を取り出せばごみと化す。できるだけ簡易包装を心がけよう。また、過剰な包装は断るべし。余分なごみが確実に減るはずさ。

詰め替え商品を選べば、不要なごみを減らせるべし

シャンプーや洗剤など、詰め替え商品が店頭には数多く並んでいるわ。こうした商品を買うことを常日頃から心がければ、家のごみは減るわよ。



買った物にはマイバッグ持参。レジ袋はガンコに断るべし。買った物のたびにもらうレジ袋も、知らないうちにあたままで、ごみの山となる。買った物のときにはマイバッグを持参するべし。大きなレジ袋1枚で約15グラムの減量につながるのだよ。

ごみの分別

ごみの中から資源として分別されたものは、もう一度命を与えられて再生されています。例えば、ピンはピンに、アルミ缶はアルミ缶に、スチール缶は建築資材などにリサイクルされています。昨年10月から集積所回収の始まったペットボトルは、文房具、ハンガー、洗剤用ボトル、作業着、カーペットなどに生まれ変わります。

分別せずに、資源をごみで出すことは、最高にもったいない! ことなんです。



ピン・カンは資源になる。必ずわけるべし。ピン・カンはいずれも資源として再利用できる。出す際、中身を全部出し、容器をすぐのだよ。カンはつぶせるものはつぶしてね。

プラスチックごみ

プラスチックごみは、重量比で燃やせるごみの中で生ごみに次いで2番目、燃やせないごみでは1番多いごみになっています。

プラスチックは、私たちの暮らしのあらゆるところに存在します。例えば、食品容器・包装、台所用品、スポーツ用品、おもちゃ、電気製品など、プラスチックでできたものがあります。

そのため、プラスチックごみも増えました。プラスチックの原料は石油です。石油は無限にあるものではなく、限られた天然資源の一つです。使い捨てごみとして処理することはいいことではありません。

スーパーなどで見かけるイチゴや魚や卵などを包装したプラスチック容器の多くには♻のマークがついています。このマークは、資源化の対象となるプラスチック製容器包装につけられ、プラスチックの分別をやすくしています。

家電製品などを保護した発泡スチロールは、現在、燃やせるごみとして処理されていますが、買ったお店に戻す方法や新たな分別による資源化の方法、あるいは発泡スチロール以外の緩衝材による梱包など、これ以上プラスチックごみを出さない新たな方法を考えなければなりません。

フリーマーケットを利用して他人のものでも使いまわすべし

おりサは言う。「我が家で要らないものは、他の御方に使っていただきましょう」と。

フリーマーケットに夫婦で出るのも楽しい。

なぜかコワケ丸がついてくるが、それもまた楽し。みんなであるものを使いまわすのココロが大切じゃ。

生ごみ

燃やせるごみの重量比で約4割が生ごみです。この生ごみが減らせれば、ごみの大幅な減量につながります。

町田市では生ごみダイエットの試みとして3つのステージを考えました。お買い物でのダイエット、台所でのダイエット、そしてごみを出すときのダイエットです。

お買い物では、必要なものだけを買うことが重要です。特売で買すぎたため腐らせてしまったり、賞味期限が過ぎたので捨ててしまったりしていませんか。

台所でのダイエット。料理は作りすぎると食べ過ぎてしまいます。あげくの果てに食べ残し、ごみになってしまいます。作りすぎないことが大切です。

生ごみを微生物や電気力でたい肥に変えてくれる、生ごみ処理機器があります。生ごみ処理機器を使いたい肥化することで、生ごみを資源として活用することもできます。



特売で、踊る心は踊って解消

特売のチラシを見ると無性に心踊るものである。

すぐにも飛び出していき、買いに行きたい衝動にかられがちじゃ。そんな気持ちを抑えるためにはダンス、ダンス、ダンス! 踊りのほうが楽しくなって、きっと買い物へ行って余計なものを買いたい気持ちが消えていくはずだよ。

専用はがき

ごみ減量・資源化のための4つの課題の中からテーマを選択し(複数可)、ごみ減量・資源化につながるあなたのご提案を200~400字以内、横書きでお書き下さい。



題名

Grid area for writing proposals.

キリトリ線

キリトリ線